

座学と演習で学ぶカイゼン活動セミナー アドバンス編 作業レベルでの改善の目を養い、改善の手順を体得 ～改善活動を実践できる人財の育成～

定員20名

参加費無料

7/21締切

日時

2025年7月27日(月) 9時30分～17時

場所

大阪工業大学 大宮キャンパス 9号館2階セミナールーム
大阪市旭区大宮5-16-1
(JR大阪駅より 大阪シティバス 34系統乗車
中宮バス停下車)

講師

大阪工業大学 情報科学部
データサイエンス学科
教授 皆川 健多郎 氏



対象

兵庫県内のものづくり企業の経営者、製造部門、生産技術の方
特に現場の改善推進担当者、リーダー候補、作業員などで I E（イン
ダストリアル・エンジニアリング）を初めて学ぶ方

～模擬生産ラインを使った演習～



申込み



申込多数の場合、6月30日開催「座学と演習で学ぶカイゼン活動セミナー」受講者を優先します。また1社あたりの参加者を制限する他、以下の優先度で参加者の調整を行います。

優先順位：神戸市内の製造業＞兵庫県内の製造業＞神戸市内のその他企業＞兵庫県内のその他企業＞その他

【主催】神戸市、公益財団法人新産業創造研究機構

お問い合わせ

(公財) 新産業創造研究機構 技術支援部門 担当：玉垣、堀部

TEL : 078-306-6806 e-mail : smart-m@niro.or.jp

■開催の狙い

6月30日開催の「座学と演習(模擬体験)で学ぶカイゼン活動セミナー」のアドバンス編として、参加者が自社に戻って“作業改善”を実践できる能力を育成します。具体的には、作業改善、治工具改善、動作改善を模擬生産ラインでの演習を通じて、座学での学習内容の理解を深め、実践力を修得することができます。

■本コースで修得できる実践力

- ① 実際の現場におけるムダを見つける
- ② ECRSの原則や動作経済の原則に基づいた改善案の提案
- ③ チームでの改善活動の進め方

■カリキュラム詳細

1. 改善活動の必要性と進め方 【座学】
 - (1)現状分析 ～現場の捉え方～ (ムダの概念、タイムスタディ)
 - (2)作業改善 ～作業改善の進め方 (ECRSの原則)～

2. 生産1 (現状の確認) 【演習】
 - (1)役割分担の決定
 - (2)作業習得の実施
 - (3)「生産1」の準備・実施・振り返り

3. 生産2 (改善案の検討と効果の確認) 【演習】
 - (1)「生産1」の問題点の抽出
 - (2)改善案の検討と実施
 - (3)「生産2」の準備・実施・振り返り

4. 生産3 (治工具、荷姿の改善) 【演習】
 - (1)「生産2」の問題点の抽出
 - (2)改善案の検討と実施
 - (3)「生産3」の準備・実施・振り返り

5. 研修のまとめと振り返り
 - (1)最終成果の確認
 - (2)検討課題の整理とさらなる改善活動の進め方
 - (3)総合質疑応答